

2022年 5月 9日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

1級受検番号 NO 06F1620025 氏名 T.N (広島 在住)

■ 1級技能士を目指したきっかけ
キャリアコンサルタント技能士という資格に出会ったとき、自分のこれまでの経験やスキルが資格として認められることに興奮と喜びを感じました。2級技能士を取得し、将来1級技能士資格ができることを知り、いつかは1級技能士になることを目標としていました。
■ 当初の勉強法
2級技能士も独学で受検した経験から、1級技能士も独学で挑戦してみました。結果は散々でした。 学科試験は国家資格キャリアコンサルタント養成講座で指導する中で継続学習できていたおかげで問題はありませんでした。実技試験（論述・面接）は合格点からほど遠い状況でした。勉強のヒントも少なく試行錯誤しながらの受験でした。
■ 合格のきっかけ
自己流での学習に行き詰まりを感じていた時に、出会ったのが「1級技能士の会」の論述面接対策の講座とロープレ三昧です。 論述では、設問の意味（意図）が絞り切れず、苦勞していましたが設問の意図の整理ができました。またロープレ三昧で試験時間30分の構造の理解と一般化の重要性に気づけたことで大きく改善されたため、合格の可能性を感じることができました。
■ 学科試験の勉強
学科の勉強は、国家資格キャリアコンサルタント養成講座で使用するレベルの基本の確認を行うことと徹底して過去問から派生した関連情報の整理を行いました。派生問題の確認のために青本を活用しました。
■ 論述試験対策
論述対策は、対策講座レジュメと「1級実技試験合格バイブル」を活用しました。実は対策講座終了後の試験で8割以上の得点を獲得したため、その後の試験は面接重視でほとんど準備せずに2回連続不合格点となりました。その反省から今回は各設問の意図を見直し、意図に沿った回答を心掛けました。
■ 面接試験対策
面接対策は3ケースそれぞれについて、可能な限り見立てを行い、口頭試問の想定問答も含めて、事例相談面接の目的を考えながら準備しました。 その上で受検する仲間とRPを繰り返しながら、気づきの整理を行い準備しました。
■ 受検される方へメッセージ
私は7回目の受検で合格しました。今回は学科、論述、実技のフルマークで合格できました。初めて自分の受検番号を見つけた時は、喜びよりも驚きの方が大きかったように思います。受検を振り返り、今では「不合格の経験があってよかった」と思っています。きれいごとではなく、昨年まで「そう思うように努力」していました。合格できなければ強がりにしかならないこともわかっていました。でも、不合格で受検を継続することは心が折れそうになり、そう思わず

にはいられないし、そう思うことを支えにしていました。
だからこそ、今言えるのは、『私の財産は、3期連続実技試験に合格できたこと』です。
この経験は不合格があったからこそ獲得できた経験です。
指導レベルキャリアコンサルタントの役割をイメージすることで求められる本質が理解できる
ことがとても重要だと感じました。
一人でテクニックとして対策を行うのではなく、試験で何を求められているのかを知ることが大
切だと思いました。対策講座に参加したことが私の転機となりました。
皆様にこのメッセージが挑戦するきっかけ(継続するきっかけ)となっただけだと幸いです。